

(令和3年度) 第1回 個人住民税検討会議事概要

【地方税の周知広報について】

- 住民への地方税制度の周知について、総務省や市町村の取組を教えていただきたい。
- 改正内容が難しいものについては、書面だけでの説明が難しくなっている。
- 地方税の教育の機会を増やすべきではないか。住民税がどのように使われているのかということについて、自治体の職員が説明できることが必要。

【二地域居住】

- 行政サービスのあり方を考えるときには、住民票をどこに置くのか、どこに居住地を置いていくのかということも考えていかなければならない。
- 別荘を持っている納税者や、単身赴任をしている納税者については、課税事務が難しくなっている。今後複数の場所に住むことを考える余地は増加すると思う。
- 1年間のうち二カ所に数ヶ月ずつ住んでいるのであれば、二カ所に納税することが理想だと考える。

【均等割】

- 復興税が終了する代わりに、国税として森林環境税の1,000円が新設されるタイミングで均等割の引き上げについての議論をすることについて、どのように考えるか。
- 将来的な展望として、住んでいる自治体の生活に必要なコストに応じた税制にするなど、自治体によって標準税率を設定することはあり得るのか。
- 個人住民税を地域社会の会費という形で捉えれば、税率を上げる方向で検討するということが良いと思うが、逆進性の問題もあるため非課税世帯への配慮は必要。また、地方財政においては、個人住民税や固定資産税のような偏在性の少ない税制が重要であることから、再度検討しても良いとは思う。
- 時代とともに税制度が複雑な仕組みになっており、税制改正に伴うシステム改修に伴う費用も大きくなっている。

【現年課税化】

- 現年課税化するまでの間は、例えば、出国時の課税について、出国したときを賦課期日にするなどの課税の特例的なものから検討してはどうか。
- 従業員の1月1日の住所把握が難しい上に、税額計算自体、事業者側も自治体側も納税負担がかかるため、対応が難しい状況である。今後、行政の手続が簡素化、費用対効果も最大化していくという観点から、マイナンバー等を活用しながら検討をしていくべき。

【ふるさと納税】

- 今後更にふるさと納税が肥大化する可能性がある中で、国と地方との関係においても考え

ておくべき論点があるのではないか。

- ふるさと納税について、指定制度ができたときに問題となっていた地方団体は現在どうなっているのか。
- ふるさと納税について、災害において義援金的な扱いのふるさと納税というものが納税者にも新しい感覚として生まれたことは良いと思う。
- 地場産品などが少ない地域や関東圏の市町村において、収入が見込みにくいことがあり、自治体によって不公平感があるように見えるため、今後のあり方を気にしている。
- 返礼品目当てのふるさと納税の課題は引き続きあるが、指定制度になったことで一定程度改善されている。
- 税額控除ではなく所得控除にするべき。災害時の寄附は、あくまで義援金であって、元々納めるべき税金から控除することには違和感を覚える。

【地方税の電子化】

- 今後、確定申告の必要はないが、個人住民税の申告の必要がある年金所得者等の手続についても、電子化する仕組みを検討していく必要がある。国税庁とも調整が必要であり、総務省には調整を進めていただきたいと考えている。

【ライフコース】

- 働き方の多様化による転職等が増加する中で、退職所得控除について年金等も含めて全体として考えていくことが今後の課題である。
- 近年の生活やライフスタイルに合わせた改正が行われており、今後どのように改正されていくか動向を気にしている。
- ライフコースが多様化する中で、DXを進めることが必要。
- 近年、2カ所からの退職所得を受給者が増加による更正請求が増えているため、より簡素な仕組みが必要だと思う。

【金融所得課税】

- 金融所得課税の一体化の促進は経済界としても要望している。デリバティブを含む金融所得課税のさらなる一体化については、短期的に課題となってくるものと考えている。
- 金融所得課税については、高所得者ほど実効税率が下がる状況があるため問題視している。大口株式や多額の株式譲渡をした場合などには、個人住民税の税率を上げるべきではないか。

【その他】

- 国外で国際結婚をした者等について、住民税を世帯課税にするなど市町村が実態を確認することができる仕組みが必要ではないか。
- コロナによって、若年世代や勤労世代に大きな負担がかかっている状況に対応するための財源について世代間の負担のあり方を中長期的に考えていく必要がある。

資料 1

- 調整控除は不要ではないか。実際の仕組みについては検討が必要であるが、少額所得者については税額控除という方策も考えられるのでは。

(以上)